

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
 例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
 TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
 E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
 URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 水上成樹
 副 会 長 : 平岩憲政
 幹 事 : 野田三津雄
 公共イメージ : 西川 昇
 会報担当者 : 大川達也

2022 年度国際ロータリー会長：ジェニファー・ジョーンズ(ウイザー・ローズランド・ロータリークラブ・カナダ)
 2022 年度国際ロータリーテーマ：IMAZINE ROTARY(想像してください。私たちがベストを尽くせる世界を)

<本日のプログラム>
 第 2798 回 令和 4 年 12 月 15 日 第 3 木曜日
 会員卓話 國田大雄会員
 長尾信幸会員

<次回の予定>
 第 2799 回 令和 4 年 12 月 23 日 第 4 金曜日
 忘年例会 ホテル郡上八幡にて

<前回の記録>
 第 2797 回 令和 4 年 12 月 8 日 木曜日
 外来卓話 浄因寺住職 玉腰秀樹様

司 会 進 行 國田大雄 SAA

点 鐘 水上成樹会長

ソ ン グ 我等の生業

来 客 紹 介 遠藤一史会員
 浄因寺住職 玉腰秀樹様

出 席 報 告 長尾信幸出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
34 名	25 名	6 名	31 名	88.2%

ニ コ B O X 可児一彦ニコ BOX 担当責任者

- ・浄因寺住職 玉腰様ようこそ。卓話宜しくお願ひします。 水上成樹
- ・本日は玉腰秀樹様、ようこそ起こし下さいました。どうぞ宜しくお願ひします。 野田三津雄
- ・浄因寺住職 玉腰様、卓話楽しみにしております。
 遠藤一史・平岩憲政・廣瀬泰輔・岩出明喜
 岩尾 誠・可児一彦・河合 修・國田大雄
 松本英樹・村土時男・永瀬和郎・西川 昇
 西村 肇・小笠原正道・大川達也・竹内巧治
 田中義久

幹 事 報 告 野田三津雄幹事

- ・ガバナー事務所より 2023 年 1 月クラブ請求書の作成にあたってのお願い
 - ・ガバナーエレクト事務所より 2023-24 年度会長幹事・研修リーダー氏名確認のお願い
 - ・地区事務所よりクラブ研修リーダーセミナーのご案内
 - ・関 RC よりホームページリニューアルのお知らせ
 - ・可児、美濃 各 RC より例会変更のお知らせ
- <拝受>
- ・上野東 RC より IM 報告書
 - ・桑名北 RC より週報

会 長 の 時 間 水上成樹会長



皆さん、こんにちは。話を始める前に、先日お亡くなりになられた林健吉さんに黙祷を捧げたいと思います。- 黙祷 - ありがとうございました。林さんの葬儀の際は、SAA の方にお手伝いを頂きありがとうございました。林さんのご冥福をお祈り申し上げます。今日は浄因寺住職の玉腰様、ようこそいらっしゃいました。ありがとうございます。卓話の方、宜しくお願ひ致します。

先日、会長・幹事会がございまして、議題として会員増強についてのお話がありましたが、どこのクラブもなかなか苦戦しているようです。現在の各クラブの状況を、ガバナー補佐に報告させて頂きました。

それから、2 名の方の推薦がありましたのでご報告致します。ご意見等ありましたら、1 週間以内にお願ひ致します。



皆様、こんにちは。浄因寺住職の玉腰秀樹でございます。今日は、お招き頂きましてありがとうございます。ほとんどお寺でこのようなことをさせて頂いています。最初の頃は、一生懸命お話をさせて頂き、最後だけクリエイション的に替え歌を歌っていたのですが、お参りの方に「歌が一番よかった」と言われ、ここ3年くらい前からこれ専門でやっています。今日は、涙そうそうの曲を持って参りました。いつもは元歌を皆さんと歌ってから替え歌をやるのですが、今日は時間がないので、即替え歌をやります。

替え歌—ナムアマダ鑑賞

今日は、三つお話ししたいなと思って参りました。まず、「そむいても うたがっても いつも呼び続け」という歌詞を作りました。私の話をすると、そむいてばかりなんです。疑ってばかりの毎日だな、ということを歌詞に込めました。宗教の本質とは、私が思っているのは本当のことは何かと求めているのが、また、求めないのは宗教ではないと思うんです。例えば、本当のお父さんを考えるのが宗教の始まりだと思います。本当の親子とは、と人間は考えるんです。あり方は色々です。いろんな形があるけれど、それぞれが本当に心を通わせて、本当のお母さんになるにはどうすればいいかな、本当の夫婦になるにはどうすればいいかなと考えているんです。そこに教えというものを鏡として、「あなたの姿はどうですか？」と問われない限り、宗教でも何でも無い、ただの欲望を拝む世界でしかないと思います。本当のあり方を求めると、背いている私が見えてくるんです。私のお寺は浄土真宗なので親鸞聖人です。90歳で亡くなりましたが、死ぬまで色々な欲がある方でした。だから私は親鸞聖人を信用するんです。ワシは偉いお坊さんになったから、ワシの言うことをききなさい、そんなことは一言も言っていない。みんなと一緒にだよ、念仏を唱えて嬉しくないんですが、どうしましょう、親鸞も同じだよと言っているんです。話を戻しますが、本当のあり方を求めていたのに、私たちは背いている自分、そして、その背いている眼で疑ってかかっている自分を見つめない限り、世の中は良くならないし、戦争もなくなりません。そういう悲しい世界を見て、本当のあり方とは何か、これでいいのか、そこに石を投げられるのが宗教でありお釈迦様の教えであるということを思います。

もう一つ。日本人は幽霊が好きです。皆さん、お盆に先祖の霊に会ったことがありますか。おそ

らくないです。昔からやっているから、みんながやっているから、日本中がやっているから、そんな世界です。京都なんかでは大文字焼きをやっていて大変風流です。しかし、中身を見てみると本当のあり方でしょうか。日本でも世界でもそうですが、天国やあの世が欲しいんです。浄土真宗でも紛らわしい言葉を使います。「お浄土へ参る」とか、お浄土なんてないんです。お浄土の教えはあっても、お浄土という世界はない。今の生活の延長線上が欲しいんです。私共は、葬儀の後の初七日の法要で「白骨の御文章」というのを読ませて頂きます。親鸞聖人から数えて八代目の蓮如上人が書かれたお手紙です。そこに何て書いてあるか。死んだら骨になるよと書いてあります。浄土へ行くとか、あの世へ行くとか、天国へ行くとか、星になるとか一切書いてありません。白骨になるから、今あなたたちは本当のことを求めて歩みなさいと書いてあります。皆さんのお父さん、お母さんも骨になって、ちゃんとそばにみえるでしょう。どこにも行かないんです。その真っ白な骨を見て、これはどう生きるべきかを考えるのが大事な道なんです。その真っ白なお骨に、皆さんが問わないといけないと思います。その人がどう生きたか、どう歩んだか、それを真っ白な骨が問いかけてくれるなら、まさしくその方が仏様として導いて下さっているという、紛れもない証拠です。事実です。嘘ではないんです。ある意味仏教は冷たいかもしれませんが、本当の真実を求めた時、人間は素晴らしい、人間はしかし危ないと問いかけているのではないのでしょうか。

最後、歌って帰ります。二番の歌詞に「目先の幸せ祈る それが私の常なのか 拝んで願いがかなうなら 悲しき別れがあるものか」とあります。これは何が言いたいかということ、加持祈禱の話です。現実を突き付けられた時、投げ所はそんなあやふやなものではいけません。さっき言った背いている、私だけが私だけがという心が抜けないから、真実に背き、嘘をつき、私たちは暮らしていく。でも、嘘をついたら考えることが大事なことです。世のため人のためという言葉をもう一度私たちは振り返って自分の恩としていくと、仕事のひとつも変わっていくのではないかと思います。最後にもう一度歌って終わりにします。

ありがとうございました